

第5学年総合的な学習の時間学習指導案

1 単元名 「高津川とともに生きる」 (総時数25時間)

2 単元の目標

高津川を守るための様々な活動や、「災害に備える」という視点から高津川を捉え直す学習をとおして、学び方を身に付けるとともに、自然環境と自分たちの生活の関係について考え、災害に備えて自分ができることを実践する。

3 学校図書館活用の視点

- ・図書資料を使って、必要な情報を集めることができる。
- ・思考ツールを使って、集めた情報を整理・分類することができる。

4 本時の学習

(1) ねらい

○災害に対する備えを分類したり関係付けたりして新たな課題を見付けることができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応 (・)	○教師の支援 ◆評価
<p>1・学習の流れとめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 災害に対する備えについて詳しくなろう。 </div> <p>○今日の学習でどんな力がつくか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同する力 ・比較、分類、関係付けをして考える力 ・発表する力 <p>2. 同心円チャートの使い方を知り、災害に対する備えを分類したり、関係付けたりする。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭では避難場所の確認と、持ち出し品の用意をしていたよ。 ・近所の集会所が、避難場所に指定されていたよ。 ・ぼくの家近くに警戒区域があったよ。 <p>3. 気付きや課題をグループで相談する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、学校だけではなく町内でも行っていたよ。 ・土のうって、どこに保管されているのかな？ <p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域の安全マップをもう一度確認してみたいな。 ・川の近くには、どんな設備があるか調べに行きたい。 	<p>○単元全体の流れを確認することで、活動の見通しをもたせる。</p> <p>○児童には、災害に対して身の回りでのような備えがしてあるのかワークシートに記入させておく。</p> <p>○同心円チャートを使うことにより、それぞれの地域団体が災害への備えを行っていることやそれぞれが関わり合っていることを視覚的に捉えやすくする。</p> <p>○分類や関係付けが困難なグループには、言葉がけを行う。</p> <p>○同心円チャートの使い方は、司書教諭が説明をする。</p> <p>○活動を行うグループは、同じ校外班など、家が近い児童同士で編成する。</p> <p>○資料は学校の安全マップ、公民館や官公庁の刊行物を準備する。(学校司書)</p> <p>◆災害に対する備えを分類したり関係付けたりして新たな課題を見付けている。(同心円チャート)</p> <p>○一人一人が自分の課題をもつために、ワークシートに気付きや自分の課題を書く。</p> <p>○付けたい力やめあてについて振り返</p>

	り、次時の学習について見通しをもたせる。
--	----------------------

(3) 本時の評価（おおむね満足と判断される児童の具体例）

- ・災害に対する備えを分類したり関係付けたりして新たな課題を見付けることができる。